

研究活動の不正行為及び公的研究費の不正使用を防ぐ
ための誓約書に関する細則

平成28年4月1日
28（細則）第8号
最終改正 令和8年4月1日
令08（細則）第2号

（目的）

第1条 本細則は、研究活動の不正行為の防止及び対応に関する規程（令04（規程）第9号）第9条第1項及び第2項並びに公的研究費の不正使用の防止及び対応に関する規程（令04（規程）第10号）第15条第1項及び第2項の規定に基づき、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「機構」という。）において研究活動の不正行為及び公的研究費の不正使用を防ぐための誓約書（以下「誓約書」という。）について、誓約書の内容、誓約書の提出時期等を定めることを目的とする。

（役職員が提出する誓約書）

第2条 役職員は、機構との間で雇用（役員にあつては任用）のための契約を行う際に、別紙1に定める誓約書を人事部人事課に提出しなければならない。

2 人事部人事課は、提出された誓約書を、5年間保存するものとする。

3 職員の新規採用時にあつては、定年制職員就業規程、任期制常勤職員就業規程、任期制非常勤職員就業規程及び任期制業務補助員就業規程にそれぞれ規定されている採用時に提出すべき誓約書と併せて、本細則に基づく誓約書を提出しなければならない。

（受入研究員等が提出する誓約書）

第3条 機構が受け入れる受入研究員等（研究員等受入規程（28（規程）第89号）第2条第2項に規定する者をいう。）は、初めて機構から委嘱され、又は機構に受け入れられる際に、別紙2に定める誓約書を、イノベーション戦略部研究支援・連携業務課に提出しなければならない。

2 イノベーション戦略部研究支援・連携業務課は、提出された誓約書を、5年間保存するものとする。

（調達、共同研究、委託研究等の相手先等が提出する誓約書等）

第4条 当該年度における調達等で、一契約当たりの契約額が基準額（「国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構契約事務取扱細則」（28（細則）第25号）第29条第1項第8号から第13号に掲げる金額）以上となる場合には、契約担当課は当該契約の締結に際し、別紙3に定める誓約書の提出を契約先に要請するものとする。ただし、当

該年度中に既に誓約書の提出を受けている契約先については、これを省略することができる。

- 2 共同研究（支出を伴うものに限る。）及び委託研究（以下「共同研究等」という。）について、イノベーション戦略部研究協力推進課及びS I P推進センターは契約の締結に際し、研究活動の不正行為及び公的研究費の不正使用を防ぐための条項の契約書等への記載、又は別紙3に定める誓約書の提出を相手先機関（大学、大学共同利用機関、国立研究開発法人、特別研究機関等の公的機関を除く。）に要請するものとする。ただし、当該相手先機関から他の共同研究等の契約締結に際し既に誓約書の提出を受けている場合であって、当該共同研究等の期間が終了する日が、新たに契約を締結する共同研究等の期間が終了する日以降の場合には、これを省略することができる。
- 3 前二項に定める誓約書の提出を受けた組織は、当該誓約書を当該契約等の終了後も5年間保存するものとする。

（管理監督職員の義務）

第5条 管理監督の任にある職員は、管理監督すべき第2条第1項及び第3条第1項に該当する者が、誓約書を提出していない場合は、誓約書を出すよう指導しなければならない。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月16日 令02（細則）第24号）

この細則は、令和3年3月16日から施行する。

附 則（令和3年12月1日 令03（細則）第35号）

この細則は、令和3年12月1日から施行する。

附 則（令和4年6月1日 令04（細則）第14号）

この細則は、令和4年6月1日から施行する。

附 則（令和5年4月1日 令05（細則）第3号）

この細則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日 令06（細則）第21号）

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（令和7年4月1日 令07（細則）第16号）
この細則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則（令和8年4月1日 令08（細則）第2号）
この細則は、令和8年4月1日から施行する。

（別紙1）役職員用

(Attachment 1) For Executive Directors, Auditors and employees

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

理事長 殿

To QST President

研究活動の不正行為防止、公的研究費の不正使用防止及び安全保障輸出管理
に関する誓約書

Written Pledge for Prevention of Misconduct in Research Activities and
Unauthorized Use of Public Research Funds, and Security Export Control

私は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「機構」という。）で勤務するに当たり、「研究活動の不正行為の防止及び対応に関する規程」を始めとする規程類、研究費配分機関の規則類及び法令を遵守し、下記に掲げる行為を行わず、荷担せず、また、それらの行為を発見した場合には遅滞なく報告し、誠実に勤務することを誓約します。

万が一これに違反し、又は相違があった場合には、規程類に基づく解雇、雇用契約の取消しその他のいかなる処分又は研究費配分機関からの処分がなされても何ら異議を申し立てないことはもちろん、処分に係わる法的な責任を負うとともに、これにより機構に損害を被らしめた際には、その損害賠償の責めを負います。

I hereby pledge to work sincerely for National Institutes for Quantum Science and Technology (hereinafter referred to as “QST”) in compliance with the Regulations for Prevention of and Response to Misconduct in Research Activities and other regulations, the rules of the research funding organization, and laws and regulations, not to commit or be involved in the acts specified below, and to report to QST without delay when finding them.

If I am in breach of or inconsistent with this pledge, I shall not raise any objection to dismissal, cancellation of the employment agreement, or any other disposition imposed pursuant to the regulations of QST or the research funding

organization, and shall assume any legal liability arising out of or related to such disposition and compensate for any loss or damages suffered by QST caused by the breach of or inconsistency with the pledge.

記

1. ねつ造、改ざん、盗用等の研究の不正行為

Fabrication, falsification, plagiarism, and any other misconduct in research

2. 預け金、プール金、着服等の研究に係る経費の不正使用

Deposition or pooling of money by making fictitious orders, embezzlement of funds, or any other unauthorized use of research funds

また、私は機構へ採用されるに当たり、次のことを誓約します。

I also hereby pledge that:

1. 無断で機構の所有物の提供及び機構外への持出しを行いません。また、研究開発によって得られた成果及び取得した技術情報を、在職中及び離職後を問わず、悪用又は兵器転用する行為は行いません。

I shall neither provide nor carry out any property of QST to outside without permission. I shall neither abuse, nor divert to arms and weapons, regardless of whether during or after the employment period at QST, any results or technical information obtained or acquired during the research & development activities in QST.

2. 研究上の技術情報を在職中に外国において提供し、若しくは非居住者若しくは非居住者の影響を強く受けている居住者^{※1}（「特定類型」に該当する者という。）に対して提供しようとする場合、又はこれを離職後に提供することが在職中に明らかとなった場合には、機構が定める安全保障輸出管理規程に従い、所定の手続を行います。

^{※1} 日本の外国為替及び外国貿易法第6条第1項第5号に定義する居住者

I shall take the necessary procedures prescribed by the Security Export Control Regulations of QST before providing research-related technical information in a foreign country or to a non-resident of Japan or a resident^{※1} under the significant influence of a non-resident (i.e., a person falling under the “Specific Categories” .) during the employment period at QST or after leaving QST if such provision is expected during the employment period.

^{※1} “resident” means a resident specified in item (V) of clause 1 of Article 6 of

Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan.

3. 研究上の使用機器若しくは使用材料若しくは研究の結果得られた有体物を在職中に外国に輸出（海外へ送付又は持出し等）しようとする場合、又はこれらを離職後に輸出することが在職中に明らかになった場合には、機構が定める安全保障輸出管理規程に従い、所定の手続を行います。

I shall take the necessary procedures prescribed by the Security Export Control Regulations of QST before exporting (sending to foreign countries or bringing out, etc.) devices or materials used in or tangible objects obtained as a result of the research activities to foreign countries during the employment period at QST or after leaving QST if such export is expected during the employment period.

さらに、私は、機構が「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項から第4項までの規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」（平成4年12月21日付け4貿局第492号。以下「役務通達」という。）の1(3)サ①又は②に該当する居住者^{*1} に対して外国為替及び外国貿易法に定める技術の提供を行う場合は、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項に基づき経済産業大臣の許可が必要になる可能性があることを理解し、機構の法令遵守のため、私自身が役務通達の1(3)サ①又は②に該当するか否かについて、下記のとおり確認いたします。

^{*1} 日本の外国為替及び外国貿易法第6条第1項第5号に定義する居住者

^{*2} ①及び②の記載内容は、誓約者が「日本の居住者」であることを前提としている。

日本の非居住者である場合（例：フランスに現地採用された職員）、下部にある「日本の居住者ではありません。」にチェックを入れてください。

And I also understand when QST transfers technology specified under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act to a resident who falls under the clauses 1(3)サ① or ② of the "Notification for Transactions or Acts of Transferring Technology Requiring Permission pursuant to Article 25 (1) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and Article 17 (2) to (4) of the Foreign Exchange Order" (Document No. 492 of the Trade Bureau published on December 21, 1992; hereinafter referred to as the "Notification for Technology Transfer"), QST is likely to be required to obtain a license from the Minister of Economy, Trade, and Industry pursuant to Article 25 (1) and (2) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, and, for the sake of compliance by QST with the clauses 1(3)サ① or ② of the Notification for Technology Transfer, I hereby confirm that I:

^{*1} "resident" means a resident specified in item (V) of clause 1 of Article 6 of Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan.

※² The statements in ① and ② are based on the assumption that the declarant is a “resident of Japan.”

If you are a non-resident of Japan (e.g., an employee locally hired in France), please check the box stating, “am a non-resident of Japan.”

記

私は、

- 以下の①に該当します。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

fall under the category (1) below.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

- 以下の②に該当します。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

fall under the category (2) below.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

- 以下の①及び②に該当します。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

fall under the categories (1) and (2) below.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

- 以下のいずれにも該当しません。今後、以下の①若しくは②に該当することになった場合、又は日本の居住者でなくなった場合は、機構に直ちに報告することを誓約します。→該当した場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

DO NOT fall under any of the categories below. I pledge to inform QST promptly when I fall under any of the following (1) or (2) or become a non-resident of Japan in the future. Security export control procedures must be completed by QST.

- 日本の居住者ではありません。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

am a non-resident of Japan.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（その本邦内の支店、出張所その他の事務所を除く。以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行若しくは外国の政党その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に

基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して善管注意義務を負う者（次に掲げる場合を除く。）

(1) A Person who has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract, or any other contract with a corporation or any other organization established under the foreign laws and regulations (except for its branch offices, local offices or other offices in Japan, hereinafter referred to as a "Foreign Corporation"), or a foreign government, a foreign governmental agency, a foreign local government, a foreign central bank, a foreign political party or any other political organization (hereinafter referred to as a "Foreign Government") and is subject to the direction and order of the Foreign Corporation or the Foreign Government, or owes the duty of care of a good manager to the Foreign Corporation or the Foreign Government, according to the contract, except for either of the following cases.

(イ) 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、当該本邦法人又は当該者が、当該外国法人等又は当該外国政府等との間で、当該本邦法人による当該者に対する指揮命令又は当該本邦法人に対して当該者が負う善管注意義務が、当該外国法人等若しくは当該外国政府等による当該者に対する指揮命令又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して当該者が負う善管注意義務よりも優先すると合意している場合

(a) In the case where the Person has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract, or any other contract with a Japanese corporation and is subject to the direction and order of the Japanese corporation or owes the duty of care of a good manager to the Japanese corporation, according to the contract, the Japanese corporation or the Person has agreed with the Foreign Corporation or the Foreign Government that the direction and order of the Japanese corporation or the duty of care of a good manager to the Japanese corporation shall prevail over the direction and order of the Foreign Corporation or the Foreign Government, or the duty of care of a good manager to the Foreign Corporation or the Foreign Government.

(ロ) 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、グループ外国法人等（当該本邦法人の議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有する外国法人等又は当該本邦法人により議決権の50%以上を直接若し

くは間接に保有される外国法人等をいう。以下同じ。)との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該グループ外国法人等の指揮命令に服する又は当該グループ外国法人等に対して善管注意義務を負う場合

(b) In the case where the Person has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract, or any other contract with a Japanese corporation and is subject to the direction and order of the Japanese corporation or owes the duty of care of a good manager to the Japanese corporation, according to the contract, the Person has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract or any other contract with a Group Foreign Corporation (a Foreign Corporation that directly or indirectly holds 50% or more of the voting rights of the Japanese corporation or a Foreign Corporation of which 50% or more of the voting rights are held by the Japanese corporation. The same shall apply hereinafter.) and is subject to the direction and order of the Group Foreign Corporation or owes the duty of care a good manager to the Group Foreign Corporation, according to the contract.

② 外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益（金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち25%以上を占める金銭その他の利益をいう。）を得ている者又は得ることを約している者

(2) A Person who earns or agrees to earn a large amount of money or other significant profit (money or other profit that accounts for 25% or more of the Person's annual income when converted into money) from a Foreign Government.

年 (YYYY) 月 (MM) 日 (DD)

所属 (Department:)

氏名 (Name:)

(署名、記名押印又は電子署名の付与)

(Signature, print name and seal, or electronic signature.)

(別紙2) 受入研究員用

(Attachment 2) For accepted researchers, etc.

誓約書

Pledge

令和 年 (YYYY) 月 (MM) 日 (DD)

私は、以下のことを誓います。

氏名 (自署) :

I hereby pledge that:

Signature

1. 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (以下「機構」という。) の使命及び業務の公共性を自覚し、機構における研究開発等 (研究への指導助言、実習等を含む。) を行います。

I shall keep in mind the mission and public nature of National Institutes for Quantum Science and Technology (hereinafter referred to as “QST”) and carry out my research and development duties.

2. 法令及び機構の研究員等受入規程を含む規程類並びに機構の受入担当者等の指示に忠実に従います。

I shall faithfully follow applicable laws and regulations, QST regulations, including Regulations on the Acceptance of Researchers, etc., and the work instructions of supervisors.

3. 「研究活動の不正行為の防止及び対応に関する規程」、「研究活動の不正行為及び公的研究費の不正使用を防ぐための誓約書に関する細則」、研究費配分機関の規則類及び法令を遵守します。以下に掲げる行為を行わず、荷担せず、またそれらの行為を発見した場合には遅滞なく報告し、誠実に行動します。

I shall follow “Regulations for Prevention of and Response to Misconduct in Research Activities” and “Detailed Regulations on the Pledge to prevent Misconduct in Research Activities and Misuse of Public Research Funds” of QST” and also follow laws and regulations of Japan and regulations of research funding organizations. I shall never commit or be involved in the following acts, and I shall report to QST without delay and act faithfully when finding them.

- a. ねつ造、改ざん、盗用等の研究の不正行為

a) Research misconducts such as fabrication, falsification, plagiarism, etc.

- b. 預け金、プール金、着服等の研究に係る経費の不正使用

b) Unauthorized use of research funds such as deposition or pooling of money by making fictitious orders, embezzlement of funds, etc.

万が一これに違反し、又は相違があった場合には、規程類に基づく委嘱、受入れの取消しその他のいかなる処分又は研究費配分機関からの処分がなされても何ら異議を申し立てないことはもちろん、処分に係わる法的な責任を負うとともに、これにより機構に損害を被らしめた際には、その損害賠償の責めを負います。

Should I have done anything against this pledge, I shall not raise any objection to the termination of acceptance/commission and any other disposition imposed pursuant to regulations of QST or funding organizations; and I shall assume any legal liability arising out of or related to such disposition, and compensate for any loss or damages suffered by QST caused by the breach of or inconsistency with the pledge.

- 4. 無断で機構の所有物の提供及び機構外への持出しを行いません。また、研究開発によって得られた成果及び取得した技術情報を、受入期間中及び受入期間終了後を問わず、悪用又は兵器転用する行為は行いません。

I shall neither provide nor carry out any property of QST to outside without permission. I shall neither abuse, nor divert to arms and weapons, regardless of whether during or after the acceptance period at QST, any results or technical information obtained or acquired during the research & development activities in QST.

- 5. 研究上の技術情報を受入期間中に外国において提供し、若しくは非居住者若しくは非居住者の影響を強く受けている居住者^{※1}（「特定類型」に該当する者という。）に対して提供しようとする場合、又はこれを受入期間終了後に行うことが受入期間中に明らかとなった場合には、監督者（受入担当者）に相談するとともに、必要な場合には機構が定める安全保障輸出管理規程に従い、所定の手続を行います。

^{※1} 日本の外国為替及び外国貿易法第6条第1項第5号に定義する居住者

I shall consult with my supervisor (i.e., the host researcher accepting me as a trainee, a visiting researcher or a visiting collaborative researcher, etc.), and, if deemed necessary, shall take the necessary procedures prescribed by the Security Export Control Regulations of QST before providing research-related technical information in a foreign country or to a non-resident of Japan or a resident^{※1} under the significant influence of a non-resident (i.e., a person falling under the “Specific Categories”.) during the acceptance period at QST or after leaving QST if such provision is expected during the acceptance period.

^{※1} “resident” means a resident specified in item (V) of clause 1 of Article

6 of Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan.

- 6. 研究上の使用機器若しくは使用材料若しくは研究の結果得られた有体物を受入期間中に外国に輸出（海外へ送付又は持出し等）しようとする場合、又はこれらを受入期間終了後に輸出することが受入期間中に明らかになった場合には、監督者（受入担当者）に相談するとともに、必要な場合には機構が定める安全保障輸出管理規程に従い、所定の手続を行います。

I shall consult my supervisor (i.e., QST staff accepting me as a trainee, a visiting researcher or a visiting collaborative researcher, etc.), and, if deemed necessary, shall take the necessary procedures prescribed by the Security Export Control Regulations of QST before exporting (sending to foreign countries or bringing out, etc.) devices or materials used in or tangible objects obtained as a result of the research activities to foreign countries during the acceptance period at QST or after leaving QST if such export is expected during the acceptance period.

※¹ “resident” means a resident specified in item (V) of clause 1 of Article 6 of Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan.

さらに、私は、機構が「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項から第4項までの規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」（平成4年12月21日付け4貿局第492号。以下「役務通達」という。）の1(3)サ①又は②に該当する居住者※¹ に対して外国為替及び外国貿易法に定める技術の提供を行う場合は、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項に基づき経済産業大臣の許可が必要になる可能性があることを理解し、機構の法令遵守のため、私自身が役務通達の1(3)サ①又は②に該当するか否かについて、下記のとおり確認いたします。

※1 日本の外国為替及び外国貿易法第6条第1項第5号に定義する居住者

※2 ①及び②の記載内容は、誓約者が「日本の居住者」であることを前提としている。

日本の非居住者である場合（例：日本国外の機関に雇用されている方、又は日本に6か月以上居住していない方）、下部にある「日本の居住者ではありません。」にチェックを入れてください。

And I also understand when QST transfers technology specified under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act to a resident※¹ who falls under the clauses 1(3)サ①or ② of the “Notification for Transactions or Acts of Transferring Technology Requiring Permission pursuant to Article 25 (1) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and Article 17 (2) to (4) of the Foreign Exchange Order” (Document No.

492 of the Trade Bureau published on December 21, 1992; hereinafter referred to as the "Notification for Technology Transfer"), QST is likely to be required to obtain a license from the Minister of Economy, Trade, and Industry pursuant to Article 25 (1) and (2) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, and, for the sake of compliance by QST with the clauses 1(3)サ① or ② of the Notification for Technology Transfer, I hereby confirm that I:

※¹ "resident" means a resident specified in item (V) of clause 1 of Article 6 of Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan.

※² The statements in 2(i) and 2(ii) are based on the assumption that the declarant is a "resident of Japan."

If you are a non-resident of Japan (for example, a person employed by an organization outside Japan, or someone who has not resided in Japan for more than six months), please check the box stating, "am a non-resident of Japan."

記

私は、

以下の①に該当します。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

fall under the category (1) below.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

以下の②に該当します。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

fall under the category (2) below.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

以下の①及び②に該当します。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

fall under the categories (1) and (2) below.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

以下のいずれにも該当しません。今後、以下の(1)若しくは(2)に該当することになった場合、又は日本の居住者でなくなった場合は、機構に直ちに報告することを誓約します。→該当した場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

DO NOT fall under any of the categories below. I pledge to inform QST promptly when I fall under any of the following (1) or (2) or become a non-resident of Japan in the future. Security export control procedures must be completed by QST.

- 日本の居住者ではありません。→該当する場合、機構が安全保障輸出管理手続を行う必要があります。

am a non-resident of Japan.

If applicable, security export control procedures must be completed by QST.

① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（その本邦内の支店、出張所その他の事務所を除く。以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行若しくは外国の政党その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して善管注意義務を負う者（次に掲げる場合を除く。）

(1) A Person who has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract, or any other contract with a corporation or any other organization established under the foreign laws and regulations (except for its branch offices, local offices or other offices in Japan, hereinafter referred to as a "Foreign Corporation"), or a foreign government, a foreign governmental agency, a foreign local government, a foreign central bank, a foreign political party or any other political organization (hereinafter referred to as a "Foreign Government") and is subject to the direction and order of the Foreign Corporation or the Foreign Government, or owes the duty of care of a good manager to the Foreign Corporation or the Foreign Government, according to the contract, except for either of the following cases.

(イ) 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、当該本邦法人又は当該者が、当該外国法人等又は当該外国政府等との間で、当該本邦法人による当該者に対する指揮命令又は当該本邦法人に対して当該者が負う善管注意義務が、当該外国法人等若しくは当該外国政府等による当該者に対する指揮命令又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して当該者が負う善管注意義務よりも優先すると合意している場合

(a) In the case where the Person has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract, or any other contract with a Japanese corporation and is subject to the direction and order of the Japanese corporation or owes the duty of care of a good manager to the Japanese corporation, according to the contract, the Japanese corporation or the Person has agreed with the Foreign Corporation or the Foreign Government that the direction and order of the Japanese

corporation or the duty of care of a good manager to the Japanese corporation shall prevail over the direction and order of the Foreign Corporation or the Foreign Government, or the duty of care of a good manager to the Foreign Corporation or the Foreign Government.

(㊦) 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、グループ外国法人等（当該本邦法人の議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有する外国法人等又は当該本邦法人により議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有される外国法人等をいう。以下同じ。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該グループ外国法人等の指揮命令に服する又は当該グループ外国法人等に対して善管注意義務を負う場合

(b) In the case where the Person has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract, or any other contract with a Japanese corporation and is subject to the direction and order of the Japanese corporation or owes the duty of care of a good manager to the Japanese corporation, according to the contract, the Person has entered into an employment contract, a delegation contract, a service contract or any other contract with a Group Foreign Corporation (a Foreign Corporation that directly or indirectly holds 50% or more of the voting rights of the Japanese corporation or a Foreign Corporation of which 50% or more of the voting rights are held by the Japanese corporation. The same shall apply hereinafter.) and is subject to the direction and order of the Group Foreign Corporation or owes the duty of care a good manager to the Group Foreign Corporation, according to the contract.

② 外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益（金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち25%以上を占める金銭その他の利益をいう。）を得ている者又は得ることを約している者

(2) A Person who earns or agrees to earn a large amount of money or other significant profit (money or other profit that accounts for 25% or more of the Person's annual income when converted into money) from a Foreign Government.

(別紙3) 取引先用

(Attachment 3) For contractors

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

理事長 殿

To QST President

研究活動の不正行為防止及び公的研究費の不正使用防止に関する誓約書
Written Pledge for Prevention of Misconduct in Research Activities and
Unauthorized Use of Public Research Funds

(社名) は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と調達、受託、共同研究等の取引を行うに当たり、貴機構の規程類及び法令を遵守して下記に掲げる行為に関与せず、また、貴機構の職員等から不正な行為の依頼等があった場合には遅滞なく通報し、さらに、監査その他の調査等において、取引帳簿の閲覧、提出等の要請に協力することを誓約します。

万が一これに違反し、不正等が認められた場合には、取引停止その他のいかなる処分がなされても何ら異議を申し立てないことはもちろん、不正等に関与することにより貴機構に損害を被らしめた際には、その損害賠償の責めを負います。

(Company name) (hereinafter referred to as the “Contractor”) hereby pledges that when performing procurement, contract, or joint research, etc. with National Institutes for Quantum Science and Technology (hereinafter referred to as “QST”), the Contractor shall comply with the regulations of QST, and laws and regulations of Japan without being involved in the acts listed below, report to QST without delay upon receiving a request for misconduct by an executive director, employee, etc. of QST, and comply with a request for inspection and submission of books related to the transactions and other requests for the sake of audits and other investigations by QST.

If the Contractor is in breach of this pledge and is found to have committed or been involved in the misconduct, the Contractor shall not raise any objection to the suspension of transactions or any other disposition imposed, and also compensate for any loss or damages suffered by QST caused by the commitment or involvement of the Contractor in the misconduct.

記

1. ねつ造、改ざん、盗用等の研究の不正行為

Fabrication, falsification, plagiarism, and other misconduct in research

2. 預け金、プール金、着服等の研究に係る経費の不正使用

Deposition or pooling of money by making fictitious orders, embezzlement of

funds, or any other unauthorized use of research funds

年 (YYYY) 月 (MM) 日 (DD)

法人名 (Company name)

代表者名 (Name of the representative)

(署名、記名押印又は電子署名の付与)

(Signature, print name and seal, or electronic signature.)